



平成21年5月15日

各位

会社名 株式会社ティラド
代表者名 取締役社長 嘉納 裕躬
(コード番号 7236 東証第1部)
問合せ先 常務取締役 清水 国男
(TEL. 03-3373-1101)

通期業績予想及び繰延税金資産の取崩に関するお知らせ

平成21年2月3日に公表した平成21年3月期の業績予想の修正、投資有価証券評価損の計上、及び繰延税金資産の取崩しについて、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年2月3日発表)	90,000	△960	△1,050	△2,800
実績値(B)	90,627	△990	△1,532	△4,078
増減額(B-A)	627	△30	△482	△1,278
増減率	△0.7	△3.1	△45.9	△45.6
前期(平成20年3月期)実績	110,737	3,696	4,013	2,882

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) △56円55銭

2. 21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年2月3日発表)	66,100	△1,500	△1,300	△4,350
実績値(B)	66,367	△1,374	△1,718	△5,893
増減額(B-A)	267	126	△418	△1,543
増減率	0.4	8.4	△32.2	△35.5
前期(平成20年3月期)実績	80,465	2,775	3,289	1,182

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) △81円71銭

3. 業績予想の修正理由

従来、繰延ヘッジ処理を行っていた材料購入取引について、ヘッジの有効性が認められない部分について評価損を計上したこと、及び下記の繰延税金資産の取崩などにより、個別・連結の経常利益・当期純利益ともに予想を下回りました。

4. 繰延税金資産の一部取崩し（連結業績）

当社単体において、経済環境低迷の長期化を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、過年度繰延税金資産 1,328百万円を取り崩すこととし、法人税等調整額に計上しております。

以上